

# 町政運営の施政方針

令和5年度の施策は、

5つの基本目標から

構成されています。

人が行き交い、  
自然と共生する、  
笑顔あふれるまちづくり

- 町道改良舗装事業、消防詰所  
屋根防水整備事業 など

地域が一体となって  
支え合う健やかで安心な  
まちづくり

- 障害者福祉事業、母子保健事業、  
一時預かり事業補助金 など

地域資源のブランド化と融合により、  
新たな活力を創生するまちづくり

- 鹿児島県の農業未来創造支援事業、新規就  
農者育成総合対策事業 など

生きがいと心豊かな人材、  
伝統と文化を育む  
まちづくり

- 地区公民館管理事業、塚崎古  
墳群整備事業、山村留学事業  
など

地域が核となり、  
協働型社会を実現する  
まちづくり

- 地域商社設立支援事業、地域  
支援員設置事業、ふるさと活  
性化事業 など

人そして地域活力の創出による

地域力あふれる町へ 肝付町へ

私が4期目の町政運営を担わせていただくようになってから、一年半が過ぎました。この間、様々な行政課題を抱えながらも町政を進めることができましたのも、町民の皆様や議員各位のご理解、ご協力に支えられてのことであると、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大から3年が経過し、感染の波を乗り越え、ウィズコロナへの移行が進み、県内各地においてもイベントが開催され、少しずつ活気が戻ってきていることに安堵しているところですが、長引く円安やロシアのウクライナ侵攻等を起因とする原油価格や物価の高騰は、町財政のみならず、町民生活全般に大きな影響を与えており、依然として厳しさが続いております。

この変化の激しい社会情勢を的確に

捉え、新たに発生する幅広いニーズに  
対して、国や県の支援策や動向等を  
注視しながら、財源確保に努めつつ、  
令和5年度におきましても、町民のみ  
なさまが安全・安心で、心豊かに暮  
らせるまちづくりを目指して、広い視  
野と高い志をもって町政運営に邁進し  
てまいります。

令和5年度は、第2次肝付町総合  
振興計画、後期基本計画2年目の年  
となります。計画では、「人そして地  
域活力の創出による」地域力あふれ  
る町「肝付町」を将来像として掲げ、  
これを実現するため、5つの分野ごと  
の基本目標に基づき、まちづくりに取  
り組んでまいります。



肝付町長  
永野 和行